



自由民主党市議団
森 遵 議員



第7次総合計画の人口目標
(令和15年で10万人維持)と
対策について

問 令和8年1月1日時点での人口は10万2,763人。今後どのように取り組んでいくのか。

答 令和9年中に10万人を下回る可能性もあるが、国が進める子ども・子育て政策の抜

本的強化や経済の持続的成長、地域経済の活性化に適切に対応しながら、本市独自の取組も進め、可能な限り人口減少を抑制したい。

問 大手事業所をはじめとした既存企業の投資・事業拡大支援の取組について伺う。

答 県の地域未来投資促進基本計画やグリーンアジア国際戦略総合特区を活用し、県とともに成長産業などの投資促進に向けた取組を進めている。

問 昨年締結した帝京大学との包括連携協定の進捗状況は。

答 具体的な取組としては、帝京大学のオープンキャンパスや学園祭のPR等への協力、市が開催したおおむた健康フェアや産業フェスタ等に大学として出展いただいている。

再発言 学生の確保につながる事業にも取り組まれない。

問 大牟田港緑地運動公園の老朽化対策の進捗と予定は。

答 県に対し、令和6年7月に補修・改修等の要望書を提出した。県では、公園の全体施設補修計画のもと、園内各施設の改修等に取り組む予定。



民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員



インクルーシブ
条例について

問 市長の考えを伺いたい。

答 インクルーシブという概念は、まちづくりを進める上で大切な考えである。本市では、子供から大人まで誰もが集える場所や、保育環境が整

う中、ようやくインクルーシブの概念が広まりつつある。今後条例の必要性も含め、市民の皆様とともに考えていく。

市庁舎整備について

問 熊本地震を契機に耐震診断が行われ、庁舎整備が始まった。後戻りしない整備が必要だが、市長の考えは。

答 私の重要な責務であると認識する。これまで積み重ねてきた検討の成果を確実に次のステップへつなげ、丁寧か

つ迅速に、着実に進めていく。

問 分かりやすく信頼関係を築くために説明会が必要だが。

答 新庁舎の概要や事業費の見通しなどがまとまった段階で、説明会の開催も含め、広く市民に内容を周知し、私が直接、意見を伺いたい。

市長公約の中心市街地
活性化について

問 市長の決意を伺いたい。

答 本市の顔ともいえるまちなかの再生、活性化にしっかりと継続して取り組んでいく。



公明党議員団
平山 伸二 議員



市長の政治姿勢について
市長の平和への思い

問 現在の世界情勢を見ると、平和の大切さを感じる。市長の平和への思いを聞きたい。

答 近年、世界各地において、武力による衝突や緊張が続き、国際情勢は不安定さを増して

おり、平和が決して当たり前のものでないことを改めて認識する。日本国憲法に掲げる恒久平和は、私たち人類の共通の願いであり、武力による威嚇または武力行使は絶対にあってはならないものである。また、戦争のない平和な日本の中で、戦後の復興、繁栄に結びつき、現在の豊かな社会がつくられたものとする。

この平和なふるさとを懸命に築いてこられた先人たちの強い思いを深く心に刻み、再び戦争の惨禍が繰り返され

ることのないよう、そしてこれからも安心して心豊かに暮らすことができるよう、戦争の悲惨さと平和の大切さをしっかりと次の世代に伝え続けていきたいと考えている。

再発言 日本が戦争に巻き込まれたら大変なことになるため、政府・与野党の全ての国会議員の方々は総力を挙げて戦争に巻き込まれない判断、外交、情報の発信に最大の注意で取り組んでほしい。また、市長の気持ちをこれからも市民の皆様伝えてほしい。